

HFSCC10 年史「あしあと」



第2回 「ドキュメント設立前夜 ②」

(敬称略)

2002年(平成14年)4月1日 ●東深沢スポーツ・文化クラブ 試行開始

2002年3月、活動拠点とする世田谷区立東深沢中学校の全面改築が終わり、4月、「児童生徒の健全育成」「豊かな地域社会づくり」を目的とした世田谷区で初の総合型地域スポーツ・文化クラブが、10の自主クラブ、会員数80名でスタートした。

黒木「地域の現状を理解する必要から、当時バレーボールを指導していたNさん、等々力小学校でサッカーを指導していたAさんにも説明を聞いてもらいました。」

N：当時既に8年バレーボールを指導していたが、活動場所の確保に苦勞していた。総合型地域スポーツクラブは、学校施設の地域開放とは別枠で施設利用できるというメリットが有り、設立に協力しようと考えた(※1)。

A：最初にイメージしたのはドイツの総合スポーツクラブだった。ドイツはそういうところからオリンピック選手が誕生するくらい「クラブ」が発展していた。日本もそういう時代が来るのかな、と、興味を感じ一緒にやってみたいと思った。東深沢中学校は母校であり、自分が中学生の時に指導してくれたのもOBだった経験と、今もある繋がりが活かせ、「ボランティア」ということも自分のイメージと一致した(※2, 3)。(10周年記念誌 より抄録)

設立準備委員会が発足する時にコミュニティーのYが声を掛けて参加した団体も有った。

K：「はじめの一步の会」はその時既に20年近く活動していた。説明を聞くと、地域で自分たちが作っていくクラブというイメージが持てた。障害を持つ子どもたちが体を動かすために集まるための活動場所探しには苦勞していたので、月1回定期的に確保できるということは安定した活動のためにもありがたいと思い、お仲間に入れてもらった(※4)。



※1 バレーボール



※2 子どものサッカー



※3 大人のフットサル



※4 はじめの一步の会

こうして、後に私たちが「四つの奇跡」と呼ぶ、東深沢スポーツ・文化クラブ短期設立の要因の、「ネットワーク」「校長の決断」「既団体の合意」「地域の多様な人材」が出揃った。

振返ってみればこの四つの要素が揃ったタイミングこそが「奇跡」だったのだろう。新校舎の建設も「新しい活動にふさわしい立派な施設」として、東深沢スポーツ・文化クラブの設立の後押しとなった。

<世田谷区の総合型地域スポーツ・文化クラブ>

当初、現文科省の施策に合わせ「総合型地域スポーツクラブ」と称していた世田谷区は、2018年、「総合型地域スポーツ・文化クラブ」との呼称に変更する。「スポーツ」に限らず、文化活動を含めた総合的な地域の生涯学習の場としてのクラブという考え方からだ。

それには、世田谷区で最初のクラブとして出発した HFSCC が、スポーツだけでなく文化的な活動もクラブの柱としたことが大きいと自負している。

日本人が捉えている「スポーツ」の概念は狭義のもので、「体を動かす」ということが重要視されているが、世界レベルではチェスやブリッジも IOC 公認のスポーツであり、「普段と異なることを行って心と体を楽しくする」ことを「スポーツ」と定義づける、という考え方も有る。もっと大きく捉えるなら、人間の営みの「文化的活動」に「スポーツ」は内包されているとも言えるだろう。

<四つの奇跡>

発足後、思ってもみなかった多くの方が「東深沢スポーツ・文化クラブ」を視察対象としてくださった。その殆どの方が質問の一つに挙げられたのが、「準備委員会設立から本格始動までおよそ4か月という、なぜこのように短い時間でできたのか」ということだった。

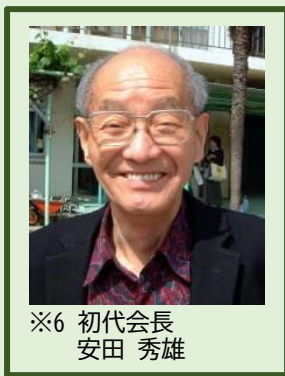
- ① 学校との連携を基本とした地域団体が既に10年の活動を積み重ねていたこと
- ② 改築された活動拠点と「学校とは地域のものである」という考え方を持った校長の決断
- ③ 既得権を主張しない既活動団体の合意
- ④ 様々な人々が各自のスキル(ネットワーク・いろいろな能力・事務処理分担など)を持ち寄るのに躊躇しなかったこと

などを説明し、これらを「四つの奇跡」と名付けた。

2002年(平成14年)7月1日 ●正式活動開始(会費徴収開始)

サッカー・新体操・卓球・はじめの一步の会・バスケットボール・バドミントン・バレーボール・剣道・野球・手づくりの会の10クラブで始まり、正式スタート時には、健康体操・太極拳・フットサル・書道の4クラブも加わった。3か月の間にいろいろな問題点を整理して、会則、マニュアルなどを発行し、6月1日付けで会報No.1(※5)も発行し近隣小中学校、町会などに配布。周知に努めた。

7月14日、「第1回総会・懇親会・記念式典」を開催。初代会長に当時東深沢町会会長だった安田秀雄(※6)が就いた。



※6 初代会長
安田 秀雄



※5 会報No.1